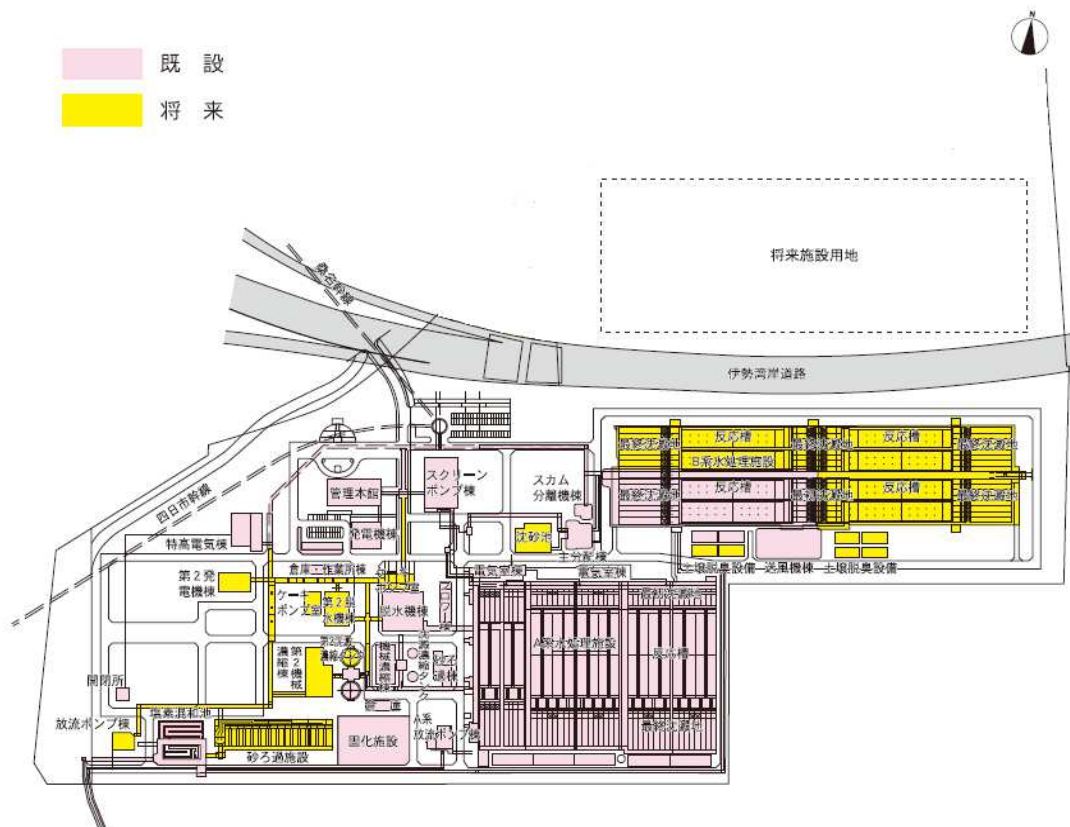


北勢沿岸流域下水道（北部処理区）

北部浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1)北部浄化センター施設配置図



計画概要

項目	区分	全体計画	事業計画
処理区域面積(ha)		12,112.3	9,559.64
処理区域内人口(人)		350,690	313,100
処理能力(m ³ /日最大)		200,392	178,000
処理方法		標準活性汚泥法 嫌気無酸素好気法 +凝集剤添加+急速ろ過法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		37.89	37.68

経過の概要

S52.3.4	北勢沿岸流域下水道北部処理区都市計画決定
52.3.8	同都市計画法による事業認可
52.3.22	同下水道法による事業認可
56.12.22	浄化センター及び幹線管渠の事業着手
62.11.28	通水式
63.1.1	供用開始(四日市市、川越町の一部)
H2.9.1	供用開始(朝日町の一部)
3.1.10	供用開始(桑名市の一部)
6.4.1	供用開始(東員町の一部)
7.4.1	供用開始(大安町の一部)
8.4.1	供用開始(員弁町の一部)
9.3.31	供用開始(北勢町の一部)
9.10.1	供用開始(多度町の一部)
10.10.1	供用開始(藤原町の一部)
12.3.31	供用開始(菰野町の一部)
15.12.1	員弁郡員弁町と大安町、藤原町、北勢町が合併し、いなべ市となる。
16.12.6	桑名市と桑名郡多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

市町別の内訳

市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口(人)	計画汚水量(m ³ /日最大)
四日市市	3,263.0	121,820	70,690
桑名市	3,211.9	113,080	67,122
いなべ市	2,301.1	37,430	19,211
東員町	975.1	24,180	12,308
菰野町	1,500.6	32,980	17,913
朝日町	279.0	7,600	4,849
川越町	581.6	13,600	8,299
3市4町計	12,112.3	350,690	200,392

(2) 北部処理区幹線管きょ状況図 (供用開始延長: 累計延長)

9幹線	管径 300-2,000 mm	総延長 97.3 km(放流きょ2.2km含む)
(平成26年度 供用開始率 100%=95.1/95.1)		

(四日市幹線)

管径 mm	延長 m	S. 61年度	62	63	H. 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平成13年度
700-2,000	23,300		3,642	3,642	3,642	3,642	3,642	4,768	4,708	7,349	10,403	11,675	11,698	11,698	21,337	22,000	23,300
供用開始率			15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	20.2%	20.2%	31.5%	44.6%	50.1%	50.1%	50.2%	91.6%	94.4%	100.0%

(朝日幹線)

管径 mm	延長 m	H. 1・2年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	平成17年度
700-1,000	12,700	2,088	2,088	2,088	2,088	3,554	3,554	3,554	3,614	3,614	5,300	6,358	6,358	6,457	6,817	11,815	12,700
供用開始率		16.4%	16.4%	16.4%	16.4%	28.0%	28.0%	28.0%	28.5%	28.5%	41.7%	50.1%	50.1%	50.8%	53.7%	93.0%	100.0%

(桑名幹線)

管径 mm	延長 m	H. 1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平成11年度
350(2条)-2,000	15,900		6,212	6,212	6,212	7,194	7,194	7,194	7,194	14,304	14,304	15,900
供用開始率			39.1%	39.1%	39.1%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	90.0%	90.0%	100.0%

(菟野幹線)

管径 mm	延長 m	H. 10年度	11	12	13	14	15	H26年度
450-800	7,100			2,086	2,086	2,865	3,203	7,100
供用開始率				29.4%	29.4%	40.4%	45.1%	100.0%

(川越幹線)

管径 mm	延長 m	H. 10年度
600-700	800	800
供用開始率		100.0%

(東員幹線)

管径 mm	延長 m	H. 6年度	7
1,150	500		500
供用開始率			100.0%

(東員南部幹線)

管径 mm	延長 m	H. 23年度	H26年度
300~800	1,000		1,000
供用開始率			100.0%

(北勢幹線)

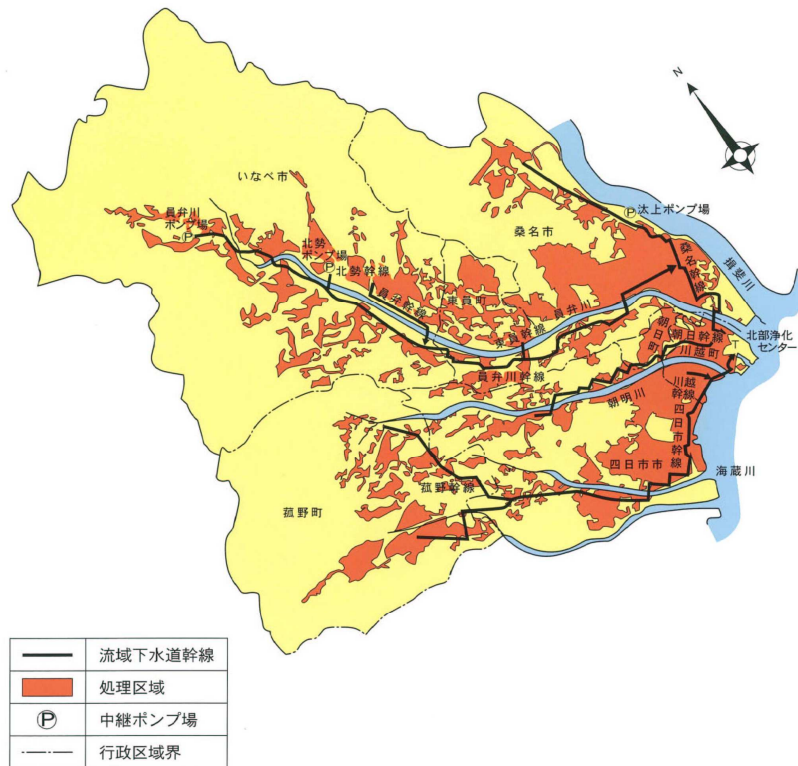
管径 mm	延長 m	H. 10年度	平成11年度
350	800		800
供用開始率			100.0%

(員弁幹線)

管径 mm	延長 m	H. 7年度	8	9	10	11	平成12年度
800	4,500		866	1,854	2,720	3,821	4,500
供用開始率			19.2%	41.2%	60.4%	84.9%	100.0%

(員弁川幹線)

管径 mm	延長 m	H. 3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平成13年度
300-1,500	28,600		3,301	3,301	9,680	15,188	24,249	24,294	24,294	26,868	27,174	28,600
供用開始率			11.5%	11.5%	33.8%	53.1%	84.8%	84.9%	84.9%	93.9%	95.0%	100.0%



	流域下水道幹線
	処理区域
	中継ポンプ場
	行政区域界

(3) 施設計画と現況

形状区分 名称	形状寸法	全体計画	平成 26 年度現在		
			土木建築	機械電気	摘要
スクリーン	水路巾	4 水路	4 水路	4 水路	
主ポンプ	28.5 m ³ /min × 270kW 61.5 m ³ /min × 450kW 69.0 m ³ /min × 520kW	2 台 1 台 2 台 (内 1 台予備)	1 棟	28.5 m ³ /min × 2 台 (230kW) 61.5 m ³ /min × 1 台 (450kW) 69.0 m ³ /min × 2 台 (520kW)	
最初沈殿池	L27.0×W4.1m×H3.0m L27.0×W8.2m×H3.0m L12.0×W17.6m×H3.0m L12.0×W8.8m×H3.0m L16.5×W9.2m×H3.0m L16.5×W18.4m×H3.0m	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 7 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 1 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 1 池	
エアレーション タンク	L51.6×W8.6×H5.7m L75.4×W9.1×H5.7m L91.2×W19.5×H5.5m	4 池 16 池 8 池	4 池 16 池 2 池	4 池 16 池 2 池	
最終沈殿池	L38.0×W4.15m×H2.5m L38.0×W8.3m×H2.5m L29.3×W17.6m×H3.5m L32.4×W8.8m×H3.5m L42.5×W18.4m×H3.5m	4 池 2 池 4 池 8 池 8 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池	
次亜塩素酸 ソーダ貯留槽	1 m ³ × 2 槽 6 m ³ × 2 槽 11 m ³ × 2 槽	6 槽	1 棟	1 m ³ × 2 槽 6 m ³ × 2 槽 5 m ³ × 1 槽 10 m ³ × 2 槽	
放流ポンプ	17.5 m ³ /min × 30kW 62.0 m ³ /min × 75kW	1 台 3 台		8.8 m ³ /min × 2 台 17.5 m ³ /min × 1 台 36.2 m ³ /min × 2 台	
放流渠	L=2,200m 2 条管 φ1,500mm ~ φ2,800mm	2,200m	2,200m	—	
汚泥濃縮タンク	φ9.0m × 水深 4.0m φ15.5m × 水深 4.0m	2 槽 2 槽	2 槽 1 槽	2 槽 1 槽	
機械濃縮	常圧浮上濃縮機 25kg・DS/m ² ・hr 8 m ²	4 台	1 棟	3 台	
脱水機	ベルトプレス ろ幅 3m ろ過速度 130kg/m/hr ろ過速度 160kg/m/hr	8 台	1 棟	5 台 1 台	
コンポスト	横型スクープ式 H2.0m × W3.0m × L20m	18 槽	—	—	
送風機設備	130 m ³ /min × 200kW 110 m ³ /min × 170kW	4 台 5 台 (内 1 台予備)	1 棟	65 m ³ /min × 1 台 130 m ³ /min × 2 台 150 m ³ /min × 1 台 15 m ³ /min × 2 台 90 m ³ /min × 2 台	
自家発電機	ディーゼルエンジン 900PS 発電機 750kVA	5 台	1 棟	3 台	

形状区分 名称			形状寸法	全体計画	平成 26 年度現在		
					土木建築	機械電気	摘要
砂ろ過設備			1,500 m ³ /D~2,250 m ³ /D	4 基	—	3 基	
中継 ポンプ 場	北勢	ポンプ	2.8 m ³ /min × 22kW	2 台	マンホール	2 台	
		予備発	60.0 KVA × 220V	1 台		1 台	
	員弁	ポンプ	0.67 m ³ /min × 5.5kW	2 台	マンホール	2 台	
予備発		42.5 KVA × 220V	1 台	1 台			
汰上	ポンプ		5.2 m ³ /min × 37kW	2 台	1 棟	2 台	
			4.6 m ³ /min × 37kW	(内 1 台予備) 1 台		3.3 m ³ /min × 1 台 (22kW)	
		予備発	200 KVA × 420V	1 台		1 台	
幹線管渠			φ2,000mm~φ300mm	95.1km	93.4km	—	

(4) 設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
ス ク リ ー ン ポ ンプ棟	ス ク リ ー ン	流入ゲート	W1,200×H1,200 制水扉 電動式バルブコントローラ	5.5	4	
		粗目スクリーン	W2,200 有効目幅100mm 取付角度75度 フラットバースクリーン	—	4	
		細目スクリーン (自動除塵機)	ダブルエンドレスチェーン式 レーキスクリーン 掻揚速度 3m/min	2.2	4	
		No.1スクリーンかす搬出機	シャフトレススクリュウコンベヤ W280×L9.5m 能力4t/h	5.5	1	
	リ ン	リ ン	し渣洗浄脱水機	スクリュウ洗浄式 W500×L5,500 能力3m ³ /h	5.5	2
			スクリーンかす スキップホイス	ワイヤーロープ式 10m/min×26m バケット容量0.3m ³	2.2	1
	ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	スクリーンかす ホッパー	ロードセル2点方式 10m ³	2.2×2	1
			機器搬入用 チェーンブロック	3t×11m 手動式ギヤードトロリ	—	1
			角落とし用 チェーンブロック	1t×16m手動式ギヤードトロリ	—	1
			スカム分離機	回転ドラムスクリーン φ800×w500 3m ³ /min 目幅3mm	0.75	1
			弁操作用空気圧縮機	48L/min 7kg/cm ²	0.4	1
			ホイス	巻上横行軌条12m/min×25m 軌幅125mm	2.2 0.4	1 1
	ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	脱臭装置	薬液洗浄塔(酸アルカリ洗浄漏れ網スクラバー) 処理量105m ³ /min □1,200×H5,800×2塔	—	1式
			脱臭ファン	FRP製ターボファン 105m ³ /min×200mmAq	15	1
脱臭薬液循環ポンプ			350L/min×18m×400V	3.7	2	
薬液注入ポンプ			6~60L/min (硫酸用) 12~120L/min (苛性ソーダ用)	0.2 0.2	1 1	
薬液貯留槽			FRP製 1m ³ ポリエチレン製 2m ³	— —	2槽 2槽	
薬液貯留槽攪拌機			375 rpm	0.2	2	
脱臭pH計			酸 アルカリ	—	2	
ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	ポンプ井中間ゲート	W1,400×H1,400 手動制水扉	—	1	
		ポンプ井排水ポンプ用チェーン ブロック	1t×13m 手動式ギヤードトロリ	—	2	
		汚水吸入弁	手動式 φ500	—	2	
		汚水吸入弁	手動式 φ700	—	3	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
スクリーンプンポンプ棟	ポンプ	汚水吐出弁	電動式バルブコントローラ φ500 (内手動仕切1)	2.2	2	
			電動式バルブコントローラ φ700	3.7	3	
	棟	汚水揚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ500 × 34.5m ³ /min	230.0	2	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	450.0	1	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	520.0	2	
	設備	床排水ポンプ	水中ポンプ φ50 × 0.2m ³ /min × 19m	2.2	2	
		天井クレーン	手動式 10t	—	1	
棟	備	搬出入用チェーンブロック 手動式ギヤードトオリ	—	1		
送風機棟	送風機	送風機	湿式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転油膜式	0.2	3
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.4m/s 回転巻取式	0.2	2
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
	設備	送風機	送風機	15m ³ /min × 6,400mmAq × 1,740rpm ルーツブロワ	30.0	2
				65m ³ /min × 6,400mmAq × 17,865rpm ターホブロワ	110.0	1
				130m ³ /min × 6,400mmAq × 20,065rpm ターホブロワ	200.0	2
				150m ³ /min × 6,790mmAq × 18,717rpm ターホブロワ	230.0	1
				90m ³ /min × 6,900mmAq × 29,640rpm ターホブロワ	160.0	2
	棟	備	送風機吐出弁	φ150 電動式仕切弁	0.4	2
				φ300 電動式仕切弁	0.4	4
				φ250 電動式仕切弁	0.4	2
				冷却水ポンプ	0.3m ³ /min × 20m	2.2
棟	備	天井クレーン	手動式 2.8t	—	1	
			手動式 3.4t	—	1	
水処理設備	最初沈殿	汚水流量計	電磁式 φ1,200 0~9,000m ³ /h	—	1	
			超音波式 φ800 0~4,000m ³ /h	—	1	
	池	初沈流入ゲート	W500 × H500 手動式	—	40	
			W600 × H800 手動式	—	8	
			パイパスゲート	W1,000 × H1,000 手動式制水扉 × 2台 W600 × H500 手動式制水扉 × 1台 W500 × H500 手動式制水扉 × 3台	—	6
	設備	備	初沈汚泥掻寄機	フライト式ダブルチェーンコンベア0.6m/min (1連1駆動)	0.75 × 4	25
				0.6m/min (2連1駆動)	1.5 × 2	
(メイン)0.6m/min (4連1駆動)				0.4 × 4		
(クロス)0.6m/min (1連1駆動)				0.4 × 4		
棟	備	初沈スカムスキマー	0.6m/min (2連1駆動)	0.4 × 10		
			0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 1		
棟	備	初沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300 × 8台	0.2 × 48	48	
			電動シリンダー式パイプスキマー φ300 × 40台			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
水 処 理 設 備	最 初 沈 殿 池 設 備	生汚泥引抜ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m}$ (No.1、2)	3.7×2	8	
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 14.5\text{m}$ (A41、42)	3.7×2		
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 13.7\text{m}$ (A21、22)	3.7×2		
			$\phi 100 \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m}$ (B-1)	5.5×2		
	生	生汚泥引抜弁	$\phi 200 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 28$ 台		36	
			$\phi 150 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 8$ 台			
	池	初沈空気圧縮機	$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 240\text{L}/\text{min}$	2.2×2	6	
			$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 600\text{L}/\text{min}$	5.5×2		
			$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 870\text{L}/\text{min}$	7.5×2		
	設 備	池排水ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{m}$ (NO.01、A41)	2.2×2	4	
$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (A21)			3.7×1			
$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (B-1)	3.7×1					
理 設 備	生	全量投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰 $\times 20$	—	22	
			W1500 \times H400 手動式可動堰 $\times 2$	—		
		ステップ投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰	—	16	
	物	返送汚泥投入可動堰	W500 \times H400 手動式可動堰 $\times 4$ 台	—	4	
			エアレーションタンク 散気装置	80~100L/min枚 44組ステンレスホルダー付(1, 2系)	—	4池分
				好気槽 散気装置(A4、5系)	—	8池分
		好気槽 散気装置(B系)	—	2池分		
	反	エアレーションタンク 消泡装置	8L/min 消泡可動式	—	22池分	
			循環ポンプ	水中ポンプ $\phi 100 \times 1.7\text{m}^3/\text{min} \times 10.8\text{m}$	(A1,2系) 3.7×8	27
	$\phi 200 \times 4.6\text{m}^3/\text{min} \times 8.8\text{m}$	(A2,3系) 7.5×8				
$\phi 200 \times 5.1\text{m}^3/\text{min} \times 6.0\text{m}$	(A4,5系) 7.5×8					
陸上ポンプ $\phi 400 \times 14\text{m}^3/\text{min} \times 6.0\text{m}$	(B-1系) 30×3					
槽	風量空気調節弁	$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(1, 2系)	—	4		
		$\phi 250 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(A2から5系)	—	16		
		$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(B-1系)	—	2		
設 備	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機 可変速		108		
		A2, 3系 4台 \times 8池	2.2×32			
		A2, 3系 4台 \times 8池	3.7×32			
		A4, 5系 4台 \times 8池	2.2×32			
		槽外駆動式				
B-1系 嫌気槽	2.2×4					
B-1系 無酸素槽	3.7×8					

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
水 処 理 池 設 備	最 終	終沈流入ゲート	W500×H500 手動式 W400×H400 手動式		48
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.3m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) (メイン)0.3m/min (4連1駆動) (クロス)0.3m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) 0.3m/min (4連1駆動)	0.4×4 1.5×2 (A2,3系)0.4 ×4 (A2,3系)0.4 ×4 (A4,5系)0.4 ×8 (B-1系)0.4 ×2	24
	沈	終沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300×8台 電動シリンダー式パイプスキマー φ300×32台 電動シリンダー式パイプスキマー φ400×8台	(1,2系)0.2 ×8 (A2-5系) 0.2×32 (B-1系)0.2 ×8	48
		二次処理 水槽ゲート	W500×H500 手動式制水扉	—	2
	殿 池	余剰汚泥ポンプ	φ100×1m ³ /min×8m φ100×1m ³ /min×12m φ100×0.6m ³ /min×8m φ150×2m ³ /min×7m	3.7×2(A1 系) 5.5×2(A2,3 系) 5.5×3(A4,5 系) 5.5×2(B-1 系)	9
		返送汚泥ポンプ	φ150×2.7m ³ /min×11m φ150×2.9m ³ /min×11m φ190×8m ³ /min×8m φ250×9m ³ /min×9m φ300×11m ³ /min×13m	11×4 22×8 45×2	14
	設 備	池排水ポンプ	φ100×1m ³ /min×6m (NO.01) φ250×7m ³ /min×11m (B-1)	(1, 2系)2.2 ×1 (B-1系)22 ×1	2
		スカム移送ポンプ	φ100×1.8m ³ /min×15m (NO.01、02) φ150×3m ³ /min×8m (A21,A22) φ150×3m ³ /min×9m (A41,A42) φ100×1.25m ³ /min×9m (B-1)	(1,2系)11 ×2 (A2-5系)11 ×4 (B-1系)5.5 ×2	8
	滅 菌 設 備	終沈空気圧縮機	8.5kg/cm ² ×260L/min	2.2	2
		次亜塩貯留タンク液位計	次亜塩素酸ソーダ DC24V 4~20mA	—	5
		次亜塩貯留槽 (次亜塩素酸ソーダ)	FRP製 1m ³	—	2
			FRP製 6m ³	—	2
	PE製 5m ³		—	1	
		FRP製 10m ³	—	2	

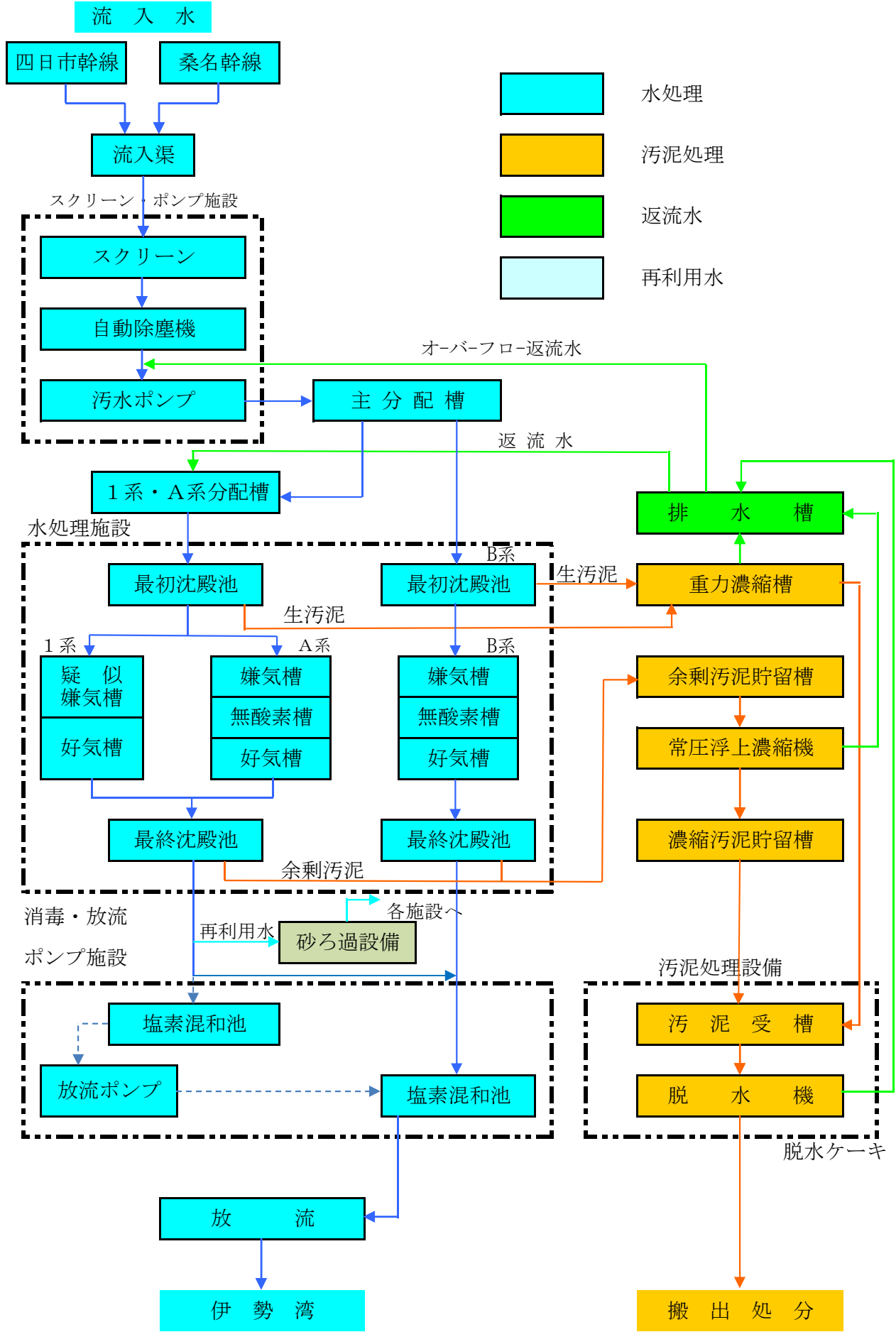
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
水	滅菌設備	次亜塩素酸注入ポンプ	0.103L/min × 0.5MPa	0.4	2	
			1.89L/min × 0.4MPa	0.4	1	
			2.58L/min × 0.4MPa	0.4	1	
			1.20L/min × 0.4MPa	0.2	2	
			4.4L/min × 0.3MPa	0.4	2	
			0.1L/min × 0.3MPa	0.2	1	
処理設備	放流設備	有機汚濁モニター	UV計	—	2	
		放流流量計	DVFM面速式	—	2	
		放流ポンプ井 流入ゲート	W1,400 × H1,700 制水扉 電動式バルブコントローラ	2.2	1	
		放流ゲート	W1,400 × H1,700 制水扉 電動式バルブコントローラ	2.2	1	
		放流ポンプ	水中ポンプ	φ 300 × 8.8m ³ /min × 5.7m	15.0	2
			立軸斜流	φ 350 × 17.5m ³ /min × 5.0m	30.0	1
			立軸斜流	φ 500 × 36.2m ³ /min × 5.0m	45.0	2
流量計	(返送汚泥流量計)AC100V電磁流量計 ポンプ用 反応槽	— —	6 16			
備	PAC設備	PAC貯留槽	FRP製 15m ³	—	1	
			FRP製 3m ³	—	1	
			ポリエチレン製 10m ³ (A4、5系)	—	1	
			PE製 15m ³ (B系)	—	1	
	PACポンプ	2.62L/min × 3kg/cm ² (移送用) 270mL/min 電磁式 (PAC注入用) 2.62L/min × 0.3MPa (PAC注入用) (A4、5系) 0.03~1.49L/min × 0.2MPa (PAC注入用) (B系)	0.4 0.024 0.4 0.4	2 8 2 2		
砂ろ過棟	砂ろ過設備	二次処理水槽連通用弁	φ 400 手動仕切弁	—	2	
		二次処理水槽		—	1	
		砂ろ過原水ポンプ	φ 100 × 1.6m ³ /min × 17m	7.5	3	
			φ 150 × 1.6m ³ /min × 20m	11.0	1	
		原水ポンプ用ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 150 × 1.6m ³ /min	—	3	
		砂ろ過逆洗ポンプ	φ 150 × 6.0m ³ /min × 18m	30.0	2	
		砂ろ過水槽		—	2	
		脱水機棟移送ポンプ	φ 200 × 4.9m ³ /min × 10m	11.0	2	
		砂ろ過器	φ 3,100 二層ろ過 処理量 1,500m ³ /日	—	3	
		除湿器		—	1	
		空気源装置	最高入口圧縮圧力9.5kg/cm ² 処理空気量830L/min	0.46	2	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汚泥濃縮設備	重	濃縮槽	コンクリート製 254m ³	—	2	
			コンクリート製 754m ³	—	1	
	力	汚泥スクリーン	回転ドラムスクリーン 1m ³ /min × 目巾4mm	0.4	1	
		汚泥引抜ポンプ	スクリュウ型 φ200 × 1m ³ /min × 12m	5.5	2	
	濃	汚泥引抜弁	φ200 × 0.2MPa 空気作動式偏心弁	—	2	
		汚泥掻寄機	中央駆動懸重型 φ9m × 4m, 2~3m/min 中央駆動支柱型 φ15.5m × 4m, 2.94m/min	0.4 1.5	2 1	
	備	スカム受カゴ搬出機用クレーン	自立型ジブクレーン 0.5t × 5m	—	2	
汚泥スクリーニング棟	重	汚泥スクリーン	スクリーン・脱水ユニット 2m ³ /min × 目巾2.5mm	1.9	1	
		汚泥スクリーンし渣ホツパ	鋼板製角型カットゲート式 7m ³	1.5 × 2	1	
		汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式 φ125 × 25~50m ³ /min × 20m	11.0	2	
		汚泥引抜切替弁	φ150 × 0.2MPa 電動式偏心構造弁	0.75	1	
		濃	汚泥分配可動堰	W400 × H400 手動式可動堰 W600 × H400 手動式可動堰	— —	1 1
			生汚泥受槽攪拌機	水中ミキサ式 槽寸法W2.3m × L2.925m × D4.4m	1.5	2
		設	生汚泥移送ポンプ	吸込スクリュ付ポンプ φ100 × 0.6m ³ /min × 7.5m	2.2	2
			床排水ポンプ	水中ポンプ φ65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2
	棟	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製ターボファン 0.31~0.93L/min × 0.4MPa	0.2	1
			脱臭装置	カートリッジ式 20m ³ /min	—	1
			カートリッジ吊上装置	1t × 5.5m 手動式チェーンブロック	—	1
	機械濃縮棟	機	余剰汚泥貯留槽攪拌機	水中プロペラ式 容量100m ³	2.4	2
			汚泥破碎機	立軸2軸回転式(管設置型) φ250	3.7	1
械		汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ150 × 25~67m ³ /h × 20m	22.0	3	
		空気圧縮機	除湿器搭載型 600L/min × 8.5kg/cm ²	5.5	2	
濃		凝集剤溶解槽	鋼板製円筒槽3.6m ³ ミキサー:立形プロペラ式	2.2	2	
		凝集剤供給機	可度連続定量供給機 0.15~1.0L/min	0.2	2	
縮		凝集剤注入ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ20 × 150~600L/h × 20m	0.4	3	
		起泡助剤希釈槽	鋼板型円筒槽(投入ホツパ式)900L ミキサー	0.1	2	
設		起泡助剤注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ φ15 × 167cc/min × 20m	0.2	3	
		浮上濃縮装置	常圧浮上濃縮装置 8m ²	9.2	3	
棟		備	脱気機	鋼板型円筒槽 2.4m ³	1.5	3
			砂ろ過給水タンク	FRP製パネル式タンク 30m ³	—	1
		砂ろ過給水ユニット	圧力タンク式 自動給水装置 0.65m ³ /min × 20m	5.5	1	
		濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式 50m ³ × 2槽	3.7	4	
		濃縮汚泥移送ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ150 × 60m ³ /h × 20m	22.0	2	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汚泥脱水機棟	汚	汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 $\phi 150$	—	2	
			空気作動偏心構造弁 $\phi 200$	—	2	
	泥	薬品コンテナ	薬品コンテナ	角形コンテナホツパ 0.5m^3	—	8
			薬品定量フィーダー	可変式容積形定量供給庫 $0.25\sim 1.0\text{L}/\text{min}$	0.4	4
	脱	薬液供給ポンプ	薬品溶解タンク	鋼板製立形円筒槽 $\phi 2.5\text{m} \times 2.5\text{H} \times 10\text{m}^3$	5.5	4
			薬液供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 50 \times 4\text{m}^3/\text{h} \times 13\text{mH}$	1.5	6
	水	汚泥受槽攪拌機	立軸バドル式 攪拌容量 約 70m^3 以上	15.0	2	
				5.5	2	
	機	汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 20\text{m}^3/\text{h} \times 23\text{mH}$	5.5	4	
			一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 15\text{m}^3/\text{h} \times 21\text{mH}$	5.5	2	
	棟	ケーキ搬出機	ベルトプレス(高効率形)ろ布巾 $3.0\text{m} \ 130\text{kg-ds}/\text{m}\cdot\text{h}$	7.4	4	
				5.7	1	
				8.2	1	
		20° トラフ3ローラベルトコンベア W600×L24500	0.75	1		
		スクリューコンベヤ(シャフトレス) $\phi 315 \times 8.1\text{m}^3/\text{h} \times \text{L}25000$	7.5	1		
		ケーキホツパ	鋼板製電動式 15m^3	3.7	2	
汚泥脱水機棟	汚泥排水設備	ろ布洗浄水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $80\text{A} \times 0.9\text{m}^3/\text{min} \times 70\text{mH}$	18.5	5	
			高圧洗浄ポンプ $0.13\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{MPa}$	15.0	1	
	脱臭設備	排水槽攪拌機	立軸バドル式 90m^3	11.0	2	
			立軸バドル式 90m^3	7.5	2	
	水	返流水ポンプ	スクリュー遠心形汚泥ポンプ $\phi 100 \times 1.5\text{m}^3/\text{min} \times 16\text{mH}$	7.5	4	
			高架水槽	角形パネルタンク 20m^3	—	2
	機	高架水槽揚水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $150\text{A} \times 3.5\text{m}^3/\text{min} \times 28\text{mH}$	30.0	2	
			生物脱臭装置	充填式生物脱臭塔 $110\text{m}^3/\text{min}$	—	1
	棟	脱臭設備	ミストセパレータ	慣性衝突形 $110\text{m}^3/\text{min}$	—	1
			脱臭ファン	ターボファン $55\text{m}^3/\text{分} \times 200\text{mmAq}$	7.5	2
No.2薬液貯留槽(苛性ソーダ)			FRP製円筒タンク 1m^3	0.2	2	
苛性ソーダ注入ポンプ			流量可変定量ダイヤフラムポンプ $15\text{A} \times 12\sim 120\text{cc} \times 10\text{kg}/\text{cm}^2$	0.2	1	
		活性炭吸着塔	カートリッジ式 $55\text{m}^3/\text{分}$	—	2	
土壌脱臭設備	脱臭ファン	片吸込ターボファン $80\text{m}^3 \times 150\text{mmAq}$	(1系,A2系) 5.5×4	10		
		片吸込ターボファン $90\text{m}^3 \times 1.47\text{kpa}$	(A3系,A4系、 5系) 5.5×6			
	脱臭床給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $40\text{A} \times 0.2\text{m}^3/\text{min} \times 22\text{m}$	(1系-A4系) 2.2×2	2		
	ストレーナ	自動洗浄ストレーナ $50\text{A} \times 0.2\text{m}^3/\text{min}$	(1系-A4系) 0.4	1		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kW)	台数
土壌脱臭設備	土壌脱臭設備	排水ポンプ	水中汚水ポンプ 65A×0.34m ³ /min×10m	(1系,A2系) 2.2×2	2
			水中汚水ポンプ 65A×0.57m ³ /min×7m	(A3系,A4系) 2.2×2	2
	土壌脱臭床	80m ³ /min 190m ² ×4床 (1系、A2系)	—	2	
		90m ³ /min 190m ² ×6床 (A3、A4、A5系)	—	3	
汰上ポンプ場	スクリュー	流入ゲート	W500×H600 鑄鉄製制水扉	1.5	2
			電動式バルブコントローラ	—	—
		粗目スクリーン	W700 有効目幅100mm 取付角度60度	—	2
			フラットバースクリーン	—	—
		破砕機	水路設置型 8.4m ³ /min	3.7	1
			水路設置型 5.85m ³ /min	3.7	1
		流出ゲート	W500×H600 鑄鉄製制水扉	—	2
	手動式			—	—
	搬出用ホイスト		2t×18m 電動横行ホイスト	3.7 0.4	1
	破砕機用チェーンブロック	1t×9m ギヤードトオリ	—	1	
	脱臭設備	脱臭装置	活性炭吸着塔	—	1
			処理量20m ³ /min □1,400×H2,650×1塔	—	—
		脱臭ファン	ターボファン 20m ³ /min×180mmAq	1.5	1
	脱臭装置用チェーンブロック	0.5t×4.5m ギヤードトオリ	—	1	
	ポンプ	汚水ポンプ用仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ200	—	2
			手動外ねじ仕切弁 φ150	—	1
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ200×5.2m ³ /min×24m	37	2
着脱式水中ポンプ φ150×3.3m ³ /min×22m			22	1	
ポンプ井攪拌機		水中形 9.0m ³ /min	2.4	1	
		水中形 4.9m ³ /min	1.5	1	
ポンプ井仕切ゲート		□550 鑄鉄製手動制水扉	—	1	
圧送管仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ500	—	1		
		—	—		
ポンプ用チェーンブロック	2t×5m ギヤードトオリ	—	1		
自家発電設備	自家発電機	発電機200kVA×420V×60Hz ディーゼル機関220kW(300PS)	200(kVA)	1	
北勢幹線マンホールポンプ場		除塵カゴ	1000×500×210 ステンレス製	—	1
		汚水ポンプ用仕切弁	手動弁 φ150	—	2
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ150×2.8m ³ /min×22.8m	22	2
		自家発電機	発電機60kVA×220V×60Hz ディーゼル機関59.6kW(81PS)	60(kVA)	1
員弁川幹線マンホールポンプ場		汚水ポンプ用仕切弁	手動ボール弁 80A	—	2
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ80×0.67m ³ /min×13.4m	5.5	2
		自家発電機	発電機42.5kVA×220V×60Hz ディーゼル機関44.9kW(61PS)	42.5(kVA)	1

(5) 北部浄化センター 処理フロー



(6) 水質管理状況

ア 水質管理状況の概況

(ア) 流入水量

平成26年度における日平均流入水量は、93,463 m^3 /日で、平成25年度の91,177 m^3 /日と比較すると、2,286 m^3 /日の増加であった。過去5年間の流入水量の変動は、平成20年度から平成21年度は1,847 m^3 /日の増加、平成21年度から平成22年度は635 m^3 /日の増加、平成22年度から平成23年度は4,344 m^3 /日の増加、平成23年度から平成24年度は1,528 m^3 /日の増加、平成24年度から平成25年度は862 m^3 /日の減少であった。

(イ) 流入水質 (BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目)

平成26年度における平均流入水質について、BOD濃度は190 mg/L (過去5年間年平均値170 mg/L)、COD濃度は98 mg/L (過去5年間年平均値96 mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。SS濃度は190 mg/L (過去5年間年平均値190mg/L) で過去5年間の平均値と同じであった。全窒素濃度は24 mg/L (過去5年間年平均値27 mg/L)、全りん濃度は2.8 mg/L (過去5年間年平均値3.2 mg/L) と過去5年間の年平均値を下回った。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は8.0 mg/L (過去5年間年平均値7.6 mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。その他の健康項目は年間を通じて、報告下限値未満であった。

(ウ) 放流水質 (BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目)

平成26年度における平均処理水質について、COD濃度は7.3 mg/L (過去5年間年平均値7.1 mg/L)、全窒素濃度は7.3 mg/L (過去5年間年平均値7.0 mg/L)、全りん濃度は0.7 mg/L (過去5年間年平均値0.5 mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。また、SS濃度は2 mg/L (過去5年間年平均値2 mg/L) と過去5年間の年平均値と同じであった。BOD濃度は1.4 mg/L (過去5年間年平均値1.7 mg/L) と過去5年間の年平均値を下回った。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は、6.9 mg/L (過去5年間年平均値6.1 mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。その他の健康項目は、報告下限値未満であった。ダイオキシン類濃度は、0.00028pg-TEQ/L (過去5年間年平均値0.00120pg-TEQ/L) と過去5年間の年平均値を下回った。

(注) 放流水質の過去5年間平均値とは、平成21年度から平成25年度までの各年度の平均値であり、平成23年度、24年度については、平成23年10月よりB系が運転を開始したため、A系とB系との加重平均値を各月の平均値として年平均値を算出している。

(カ) 放流先の環境保全に係る運転管理

窒素、りん対策のため、平成9年度からは、標準活性汚泥法による既存施設を疑似嫌気好気法に施設改良して運転を行い、平成10年度からは、嫌気-無酸素-好気法による施設を増設し運転を行っている。さらに平成23年10月より新たにB系処理施設の運転を開始した。

放流先の環境保全に寄与するため、下記5項目について、排水基準値よりも厳しい自主管理目標値を設定しており、放流水の水質について、それぞれの値以下であった。(BOD濃度最大 8.6 mg/L、COD濃度最大10 mg/L、SS濃度最大14 mg/L、全窒素濃度最大 9.8 mg/L、全りん濃度最大 1.2 mg/L、各項目の平均値については前述のとおり)

法令等に基づく基準値及び目標放流水質

項目	基準値	目標放流水質
BOD (mg/L)	15以下	14以下
COD (mg/L)	20(25)以下	18以下
SS (mg/L)	40以下	20以下
全窒素 (mg/L)	13以下	12以下
全りん (mg/L)	1.4以下	1.3以下
pH (—)	5.8以上8.6以下	5.8以上8.6以下

備考：基準値は下水道法の水質基準。ただし、CODは水質汚濁防止法に基づく三重県条例の上乗せ基準で、()値は日間平均値

イ 月別水質管理状況

4月

降雨量は151.0mm、月平均流入水量は92,134m³/日であり、3月と比べて1,427m³/日増加した。最大流入水量は30日の171,072m³/日であった。大雨対応により29～30日にかけて、初沈空き池の貯留及び流入ゲート操作による管内貯留を行った。

月内の大腸菌群数は、最高290個/cm³、平均89個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、1日に0.1mg/Lから0.5mg/Lに変更し運用した。大腸菌が大幅に減少したため、7日に0.5mg/Lから0.3mg/Lに変更、その後、25日に0.3mg/Lから0.5mg/Lに再び変更し運用した。水処理は、おおむね良好であった。

5月

降雨量は122.0mm、月平均流入水量は94,978m³/日であり、4月と比べて2,844m³/日増加した。最大流入水量は29日の120,468m³/日であった。大雨対応により26～27日にかけて初沈空き池に貯留を行った。

大腸菌群数は、最高86個/cm³、平均57個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、0.5mg/Lで運用した。

15日よりりん対策におけるPACの注入基準を変更した。1,2系が常時注入から放流水のりん濃度0.5mg/L以上で注入開始、0.5mg/L未満で注入停止。A系は変更なくりん濃度0.8mg/L以上で注入開始、0.8mg/L未満で注入停止。B系はりん濃度0.8mg/L以上で注入開始、0.75mg/L未満で注入停止から、りん濃度0.9mg/L以上で注入開始、0.85mg/L未満で注入停止に変更となった。水処理は、おおむね良好であった。

6月

降雨量40.0mm、月平均流入水量は89,628m³/日であり、5月と比べて5,350m³/日減少した。最大流入水量は5日の97,268m³/日であった。

大腸菌群数は、最高110個/cm³、平均69個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、0.5mg/Lで運用した。

19日よりりん対策における1,2系のPACの注入開始及び停止の基準を放流水のりん濃度0.5mg/Lから0.8mg/Lに変更した。水処理は、おおむね良好であった。

7月

降雨量は122.5mm、月平均流入水量は95,952m³/日であり、6月と比べて6,324 m³/日増加した。最大流入水量は10日の118,061m³/日であった。3~4日の降雨時に、A2系の耐震工事に伴い処理能力が低下していたため、初沈空き池の貯留及び併用処理を実施した。

大腸菌群数は、最高480個/cm³、平均240個/cm³であった。大腸菌群数が480個/cm³となったため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を、29日に0.5mg/Lから0.7mg/Lに変更し運用した。

8月

降雨量は252.0mm、月平均流入水量は101,895m³/日であり、7月と比べて5,943m³/日増加した。最大流入水量は10日の208,004 m³/日であった。台風13号の接近に伴い9日から10日にかけて148.5mmの降雨があり流入水量が増加したため、初沈空き池の貯留、流入ゲート操作による管内貯留及び併用処理を行った。

大腸菌群数は、最高330個/cm³、平均180個/cm³であった。大腸菌群数が330個/cm³となったため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を21日に0.7mg/Lから0.9mg/Lに変更し運用した。水処理は、おおむね良好であった。

9月

降雨量は210.5mm、月平均流入水量は99,075m³/日であり、8月と比べて2,820m³/日減少した。最大流入水量は25日の158,130 m³/日であった。大雨対応により6~7日と24~25日にかけて、初沈空き池の貯留及び流入ゲート操作による管内貯留を実施した。

大腸菌群数は、最高200個/cm³、平均150個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.9mg/Lで運用した。

12日よりりん対策におけるPACの注入開始及び停止の基準を変更した。注入開始基準は、全系列とも放流水のりん濃度1.0 mg/Lとした。停止基準は、1,2系及びA系は、放流水のりん濃度1.0 mg/L未満、B系は0.95 mg/L未満に変更した。水処理は、おおむね良好であった。

10月

降雨量は121.5mm、月平均流入水量は94,490m³/日であり、9月と比べて4,585m³/日減少した。最大流入水量は14日の136,723m³/日であった。台風19号の接近に伴う降雨により、流入水量が増加したため、13~14日にかけて初沈空き池に貯留、流入ゲート操作に

よる管内貯留を実施した。

大腸菌群数は、最高680個/cm³、平均340個/cm³であった。1日から放流水の残留塩素濃度を低減させるため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を0.9 mg/Lから 0.1mg/Lに変更した。水処理は、おおむね良好であった。

1 1 月

降雨量は80.0mm、月平均流入水量は89,739m³/日であり、10月と比べて4,751m³/日減少した。最大流入水量は1日の123,658m³/日であった。

大腸菌群数は、最高250個/cm³、平均190個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

1 2 月

降雨量は50.0mm、月平均流入水量は90,422m³/日であり、11月と比べて683m³/日増加した。最大流入水量は1日の103,341m³/日であった。

近年、年末年始の窒素流入負荷の増加により、放流水の水質が悪化する傾向にあるが、この予防措置として負荷を減少させることを目的として25日から次の対策を実施した。最初沈殿池の未使用池に雑用水を溜め、その水をオーバーフローさせることにより流入負荷を減少させた。また、汚泥返送率を上げて脱窒に努めた。さらに省エネ対策の一環として実施していた反応槽攪拌機の間欠運転を中止し、連続運転に変更した。さらにB系反応槽循環ポンプの2台運転を行い脱窒に努めた。これにより31日まで全窒素、全りん濃度上昇は見られなかった。

大腸菌群数は最高280個/cm³、平均220個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

1 月

降雨量は93.5mm、月平均流入水量は90,484m³/日であり、12月と比べて62m³/日増加した。最大流入水量は27日の103,064m³/日であった。12月25日から引き続いて窒素濃度対策を実施した。放流水悪化の予防措置を、6日に対策前の状況に戻した。

大腸菌群数は最高1,300個/cm³、平均330個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

2 月

降雨量は 24.5mm、月平均流入水量は 88,015m³/日で、1月と比べて 2,469m³/日減少した。最大流入水量は 27 日の 93,385m³/日であった。

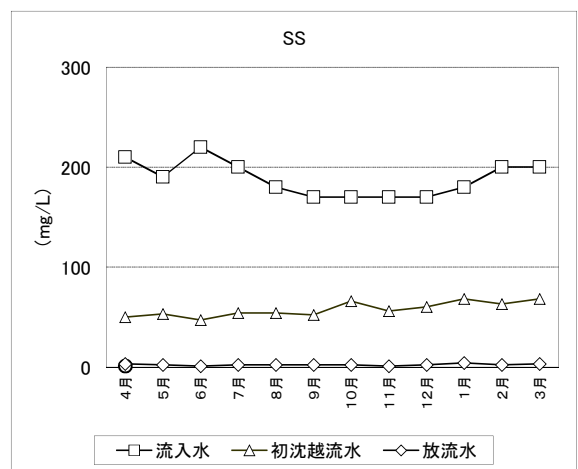
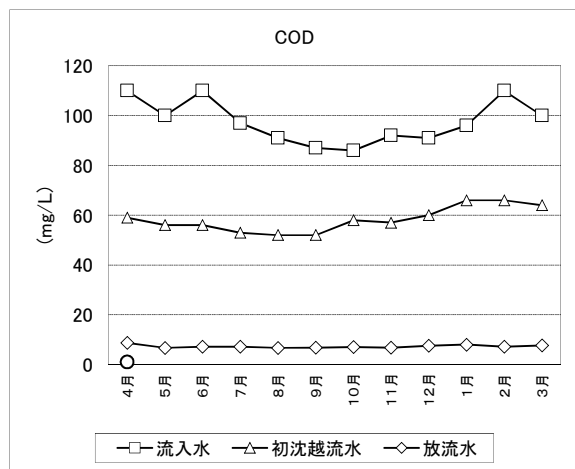
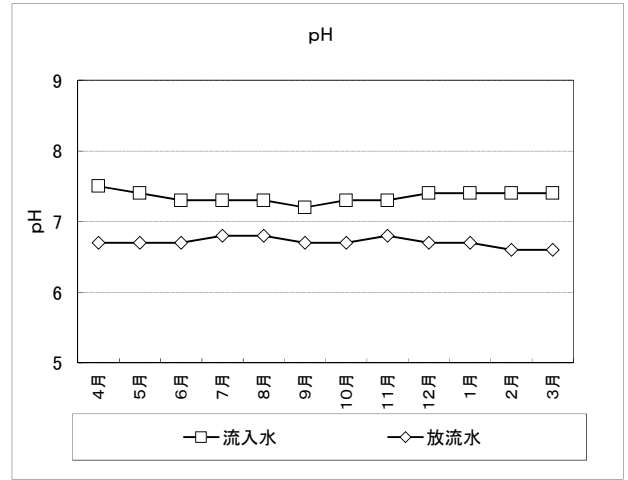
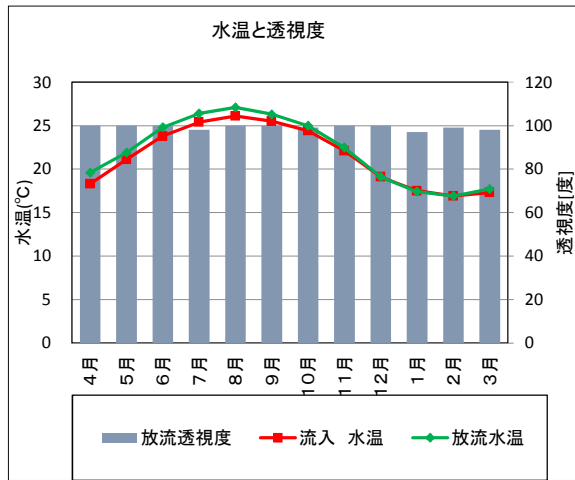
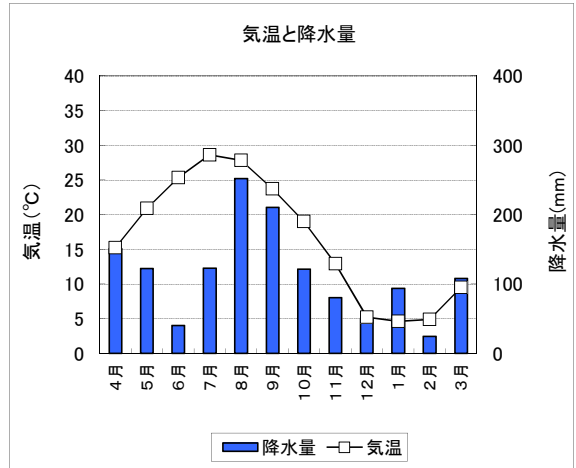
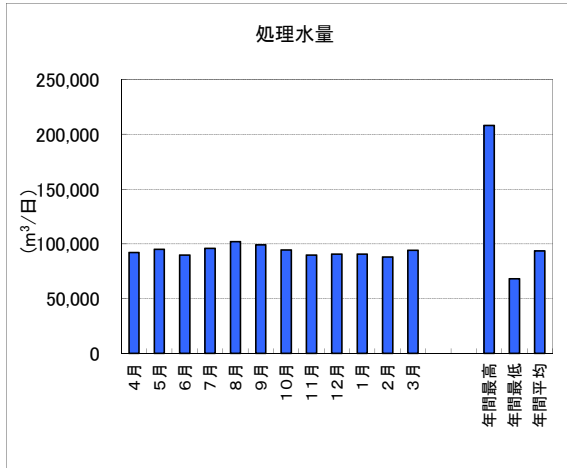
大腸菌群数は最高 170 個/cm³、平均 120 個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は 0.1mg/L で運用した。水処理は、おおむね良好であった。

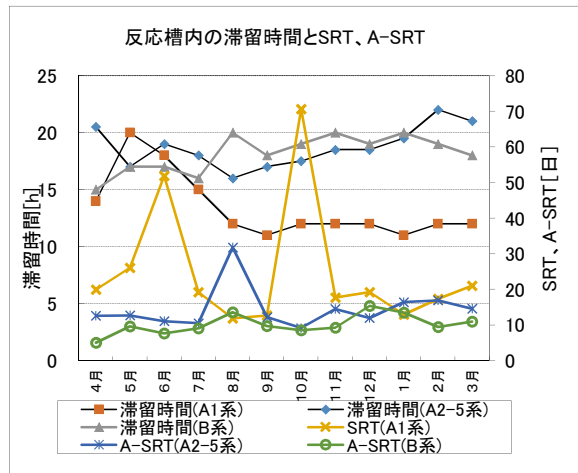
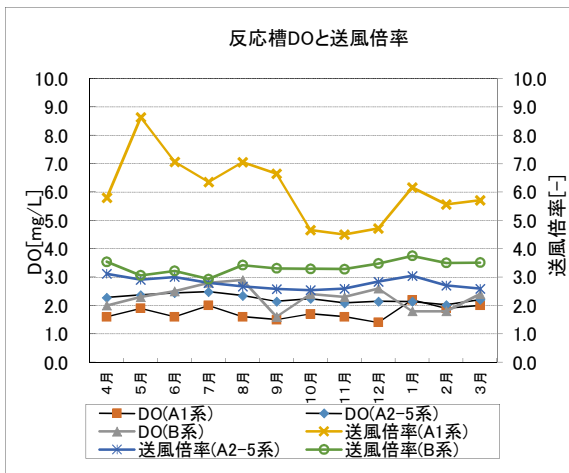
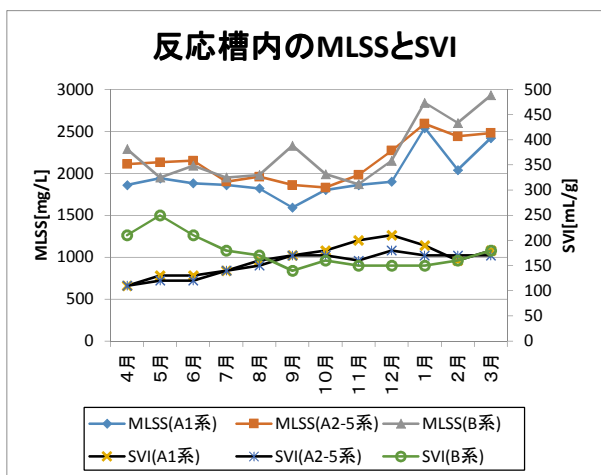
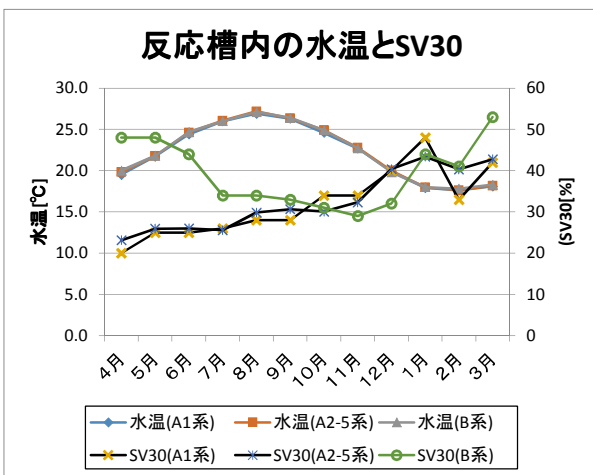
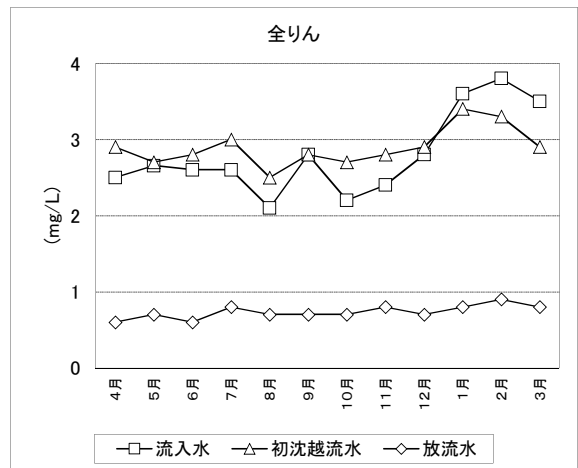
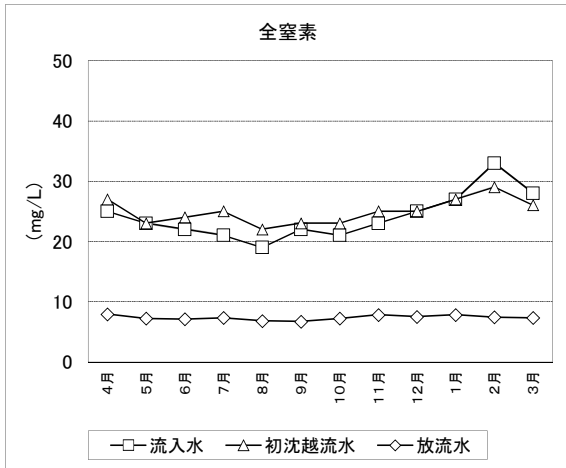
3 月

降雨量は108.0mm、月平均流入水量は94,115m³/日であり、2月と比べて6,100m³/日増加した。最大流入水量は1日の121,586 m³/日であった。大雨対応により1日に初沈空き池

の貯留を実施した。

大腸菌群数は、最高440個/cm³、平均260個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。





備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月間平均値の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

(7) 污水处理水量

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
污水处理水量	流入水量 [m ³]	2,764,013	2,944,329	2,688,846	2,974,522	3,158,737	2,972,247	2,929,187	2,692,183	2,803,086	2,805,000	2,464,413	2,917,577	34,114,140	—
	日平均流入水量 [m ³ /日]	92,134	94,978	89,628	95,952	101,895	99,075	94,490	89,739	90,422	90,484	88,015	94,115	—	年平均 93,463
	日最大流入水量 [m ³ /日]	171,072	120,468	97,268	118,061	208,004	158,130	136,723	123,658	103,341	103,064	93,385	121,586	—	年最大 208,004
	晴天日流入水量 [m ³]	1,951,666	2,334,717	1,971,883	1,861,816	1,521,805	2,033,089	1,994,714	2,025,684	2,056,925	2,045,479	1,854,716	1,906,006	23,558,500	—
	晴天日日数 [日]	22	25	22	20	16	22	22	23	23	23	21	21	260	—
	晴天日平均 [m ³ /日]	88,712	93,389	89,631	93,091	95,113	92,413	90,669	88,073	89,432	88,934	88,320	90,762	—	年平均 90,610
	晴天日最大 [m ³ /日]	94,225	112,073	96,916	101,243	117,499	103,840	100,790	94,709	96,354	95,685	93,385	105,939	—	年最大 117,499
	晴天日(雨天影響を除く)流入水量 [m ³]	1,407,309	1,381,740	1,076,347	912,750	928,074	1,248,346	1,066,567	1,483,746	1,056,558	1,042,302	883,226	1,058,613	13,545,578	—
	晴天日(雨天影響を除く)日数 [日]	16	15	12	10	10	14	12	17	12	12	10	12	152	—
	晴天日(雨天影響を除く)平均 [m ³ /日]	87,957	92,116	89,696	91,275	92,807	89,168	88,881	87,279	88,047	86,859	88,323	88,218	—	年平均 89,116
	晴天日(雨天影響を除く)最大 [m ³ /日]	90,115	109,348	96,916	95,533	106,019	97,581	93,814	92,358	91,465	89,709	90,872	103,549	—	年最大 109,348
	雨天日流入水量 [m ³]	812,347	609,612	716,963	1,112,706	1,636,932	939,158	934,473	666,499	746,161	759,521	609,697	1,011,571	10,555,640	—
	雨天日日数 [日]	8	6	8	11	15	8	9	7	8	8	7	10	105	—
	雨天日平均 [m ³ /日]	101,543	101,602	89,620	101,155	109,129	117,395	103,830	95,214	93,270	94,940	87,100	101,157	—	年平均 100,530
	雨天日最大 [m ³ /日]	171,072	120,468	97,268	118,061	208,004	158,130	136,723	123,658	103,341	103,064	90,169	121,586	—	年最大 208,004
	返流水量 [m ³]	90,579	86,424	92,191	94,751	95,172	92,340	94,346	91,280	92,712	77,104	85,684	90,678	1,083,261	年平均 2,968
	放流水量 [m ³]	2,829,974	3,065,507	2,852,182	2,939,367	2,881,021	2,476,845	2,740,109	2,754,141	2,662,337	2,811,065	2,453,120	2,841,729	33,307,397	—
日平均放流水量 [m ³ /日]	94,332	98,887	95,073	94,818	92,936	82,562	88,391	91,805	85,882	90,680	87,611	91,669	—	年平均 91,253	
日最大放流水量 [m ³ /日]	170,532	122,331	100,575	108,964	225,527	131,311	123,178	124,452	103,389	101,719	92,336	119,790	—	年最大 225,527	
再生利用水 [m ³]	84,575	85,559	80,615	85,220	86,573	76,006	80,526	74,322	71,202	81,900	76,059	82,948	965,505	—	

(8) 電力・水道・薬品・燃料

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計	日平均
薬品・水処理	次亜塩素酸ナトリウム（放流水）【kg】	9,849	12,879	9,921	10,192	17,613	14,838	1,229	1,039	914	895	1,031	1,374	81,774	224
	次亜塩素酸ナトリウム（急速ろ過）【kg】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	次亜塩素酸ナトリウム（再生水）【kg】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ポリ塩化アルミニウム【kg】	28,460	39,796	20,780	46,400	40,600	30,680	25,440	32,840	15,080	26,080	44,750	47,700	398,606	1,092
薬品・汚泥処理	高分子凝集剤（浮上濃縮用）【kg】	819.70	710.30	767.90	772.58	752.82	722.37	617.16	424.14	390.52	383.60	412.77	435.12	7,208.98	19.75
	高分子凝集剤（汚泥脱水用）【kg】	2,222.5	1,901.7	1,773.6	1,612.2	1,269.4	1,548.0	1,935.5	1,761.3	1,736.5	1,718.2	1,876.6	2,106.3	21,461.8	58.8
	ポリ硫酸第2鉄【kg】	35,923.80	44,088.10	51,845.50	51,922.10	32,958.90	36,343.00	41,739.40	32,911.90	33,604.20	36,035.90	38,881.80	54,891.40	491,146.00	1,345.61
	消臭剤【kg】	3,100.0	3,185.0	3,575.0	3,725.0	3,305.0	3,480.0	3,460.0	3,430.0	3,155.0	3,010.0	2,705.0	2,965.0	39,095.0	107
薬品・脱臭	起泡助剤【kg】	268.00	245.00	252.00	298.20	297.40	330.80	276.00	191.80	181.00	186.60	193.00	192.80	2,912.60	8.0
	硫酸【kg】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
電	苛性ソーダ【kg】	0	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240	—
	力【kWh】	1,288,140	1,329,090	1,246,860	1,318,180	1,346,820	1,290,140	1,290,980	1,215,040	1,306,700	1,343,070	1,210,940	1,327,930	15,513,890	42,504
水	道【m ³ 】	178	171	183	201	159	165	163	136	142	142	145	174	1,959	5
重	油【kg】	26	40	25	24	21	31	29	27	32	32	61	2,648	2,996	—
軽	油【kg】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
灯	油【kg】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(9) 汚泥脱水処理

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計	日平均	
汚泥脱水処理	脱水処理量【m ³ 】	12,786.6	14,317.1	14,275.0	15,317.4	13,212.3	12,407.2	14,220.1	12,364.0	11,261.9	11,250.6	12,776.0	13,898.7	158,086.9	433.1	
	濃縮汚泥濃度日平均【%】	3.79	3.53	3.28	3.23	3.34	3.45	3.14	3.36	3.82	4.10	3.78	3.62	—	年平均 3.54	
	脱水機運転時間【h:m】	1490:58	1503:34	1464:43	1574:19	1374:08	1403:26	1609:18	1445:08	1461:00	1506:57	1625:24	1721:35	18180:30	—	49:48
	ケーキ発生量【t】	1,682.80	1,727.90	1,582.30	1,669.80	1,484.60	1,500.80	1,590.10	1,436.00	1,489.30	1,564.00	1,643.30	1,707.10	19,078.00	—	52.27
しさ	ケーキ含水率日平均【%】	73.6	73.5	73.7	73.7	73.1	73.4	74.1	73.5	73.2	73.9	73.8	74.1	—	年平均 73.6	
	しさ発生量【t】	15.48	16.07	12.76	13.90	11.56	15.52	16.92	15.21	16.69	21.24	15.70	19.37	190.42	—	0.52
汚泥処分	汚泥処分量計【t】	1,733.86	1,773.65	1,608.86	1,716.41	1,507.46	1,543.56	1,644.04	1,497.90	1,566.80	1,665.92	1,739.28	1,794.17	19,791.91	—	54.22
	セメント原料化【t】	1,733.86	1,773.65	1,608.86	1,716.41	1,507.46	1,543.56	1,644.04	1,497.90	1,566.80	1,665.92	1,739.28	1,794.17	19,791.91	—	54.22
	焼却【t】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—
しさ	しさ焼却処分量【t】	3.20	3.36	5.01	6.29	11.00	3.31	6.40	3.46	4.18	3.02	8.15	3.20	60.58	—	—

(10)施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工事名称	整備内容
1	No. 14ろ布洗浄水ポンプ分解点検工事	ろ布洗浄水ポンプの分解点検工事
2	北部浄化センターNo. 11余剰汚泥貯留槽攪拌機分解点検工事	余剰汚泥貯留槽攪拌機の分解点検工事
3	北部浄化センターA5系反応槽攪拌機分解点検工事	反応槽攪拌機の分解点検工事
4	砂ろ過設備No. 13原水ポンプ・ストレーナー分解点検工事	原水ポンプ・オートストレーナーの分解点検工事
5	汰上ポンプ場No. 1ポンプ井攪拌機分解点検工事	ポンプ井攪拌機の分解点検工事
6	機械濃縮槽No. 11濃縮汚泥移送ポンプ分解点検工事	濃縮汚泥移送ポンプの分解点検工事
7	No. 11, 12濃縮汚泥攪拌機減速機等分解点検工事	濃縮汚泥攪拌機減速機等の分解点検工事
8	No. 14汚泥受槽攪拌機減速機等分解点検工事	汚泥受槽攪拌機減速機等の分解点検工事
9	北部浄化センター重力濃縮No. 21濃縮汚泥引抜ポンプ分解点検工事	濃縮汚泥引抜ポンプの分解点検工事
10	No. 13ろ布洗浄水ポンプ分解点検工事	ろ布洗浄水ポンプの分解点検工事
11	No. 13機械濃縮浮上装置他分解点検工事	浮上装置他の分解点検、部品交換工事
12	砂ろ過設備No. 11・12移送ポンプ分解点検工事	移送ポンプの分解点検工事
13	No. 11・15汚泥脱水機分解点検工事	脱水機の分解点検
14	A4系初沈汚泥搔寄機等分解点検工事	26年度出来高分(材料納入)
15	機械濃縮棟No. 13汚泥供給ポンプ分解点検工事	汚泥供給ポンプの分解点検工事
16	重力濃縮No. 22濃縮汚泥引抜ポンプ分解点検工事	汚泥引抜ポンプの分解点検工事
17	脱水機棟・汚泥スクリーン棟脱臭ファン分解点検工事	脱臭ファンの分解点検工事
18	脱水機棟No. 14・15汚泥供給ポンプ分解点検工事	汚泥供給ポンプの分解点検工事

設備故障状況及び処置概要		
年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
26 4	A2系地上(初沈、反応槽、終沈)FRP蓋破損	経過観察
26 5	脱水機棟2F脱水機室 躯体ジョイント部破損	業者による修繕実施済(躯体ジョイント部の化粧鋼版の撤去)
	No.13機械濃縮起泡用空気レギュレータ不良	業者による修繕実施済(レギュレータの交換)
	汰上ポンプ場 場内道路ひび割れ	業者による修繕実施済(沈下部のアスファルト再舗装)
	No.12浮上濃縮 混合装置ジョーフレックスカップリング インサート(ブッシュ)破損	カップリングインサートの購入(メンテにて交換)
26 6	据付型自動採水装置(流入)採水不良	業者による修繕実施済(コネクタピンへの取替え)
	脱水機棟2F 1系脱水機室躯体破損	経過観察
	No.12砂ろ過器 空気抜き配管腐食	業者による修繕実施済(フランジからフランジまでの配管取替え)
	No.12砂ろ過器 空気抜き弁動作不良	業者による修繕実施済(弁の取替え)
	B系反応槽採水口取付	業者による修繕実施済(蓋の加工)
	初沈ケーブルピット雨水対策(省エネ対策)	業者による修繕実施済(ピット内コア抜き)
	No.13濃縮汚泥貯留槽攪拌機過負荷	業者による修繕実施済(モータ部主要部品の取替え)
	放流ゲート スピンドル破損	業者による修繕実施済(スピンドルの取替え)
	A2系終沈脱臭ダクト破損	材料購入し、メンテで補修
	管理本館水質試験室 空冷ヒートポンプチラーユニット故障	業者による修繕実施済(ベルトの交換) メンテ直営
26 7	本館メンテ事務所及び脱水機棟3Fドアヒンジ故障	ドアヒンジの購入(メンテにて取替)
	脱水機棟2階南側扉破損	業者による修繕実施済(扉の補強及びドアクローザー、ドアストッパーの取替)
	No.16脱水機ろ布洗浄水配管漏水	業者による修繕実施済(フランジ間での配管交換)
	No.01生汚泥ポンプ吸込みカバーピンホール	メンテによる補修実施済(パテ埋め)
	ポリテツタンク周り配管劣化	業者による修繕実施済(配管の交換)
	正門三角停止表示板破損	三角停止表示板の購入(メンテにて交換)
	本館電気室漏水	業者による修繕実施済(ドレイン管の詰まり修繕)
26 8	No.11脱水機 上ろ布蛇行修正用ローラー軸受破損	業者による修繕実施済(両軸受と水切抜の取替え)
	SP棟しき搬出機 動作不良	業者による修繕実施済(スパイラル部の破断修繕)
26 9	員弁川マンホールポンプ No.2汚水ポンプ3Eリレー不良	業者による修繕実施済(3Eリレーの交換)
	B系滅菌棟自動全室素全りん測定装置計測定不良	業者による修繕実施済(サンプルライン計量チューブの交換)
	No.21次亜塩注入ポンプ中央制御不能について	県による対応(経過観察)

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
26 10	No. 12砂ろ過器 原水圧力計不良	圧力計の購入(メンテにて交換)
	機械濃縮棟 No. 13汚泥供給ポンプ異音	業者による修繕実施済み(モーター内部の破損箇所の修繕)
	B1系凝集剤貯留タンク液位用アイソレータ故障	アイソレータの購入(メンテにて交換)及び盤内の遮温実施
	脱水機棟2Fトイレ 窓ガラス破損	業者による修繕実施済(窓ガラスの交換)
	終沈A総合自動採水器 冷蔵不良	業者による修繕実施済(冷凍機、冷却コイル、温度設定器の交換及び冷媒の充填)
	B・C系No. 12送風機 潤滑油ストレーナエアークレイドバルブ不良	バルブの購入(メンテにて交換)
	純水製造装置用ブレーカトリップ	ブレーカの購入(メンテにて交換)
26 11	A51反応槽流量調節弁 電空ポジショナ動作不良	業者による修繕実施済(電空ポジショナの交換)
	No. 11終沈汚泥引抜流量計故障	業者による修繕実施済(流量計の変換機の交換)
	No. 22主ポンプ 軸封水増圧ポンプ軸部より漏水	業者による修繕実施済(軸受の部品交換)
	No. 15脱水機 異音	業者による修繕実施済(ミリングバンドのHPゾーン軸受の交換)
	No. 12脱水機 計装ボックス エアフィルタよりエア漏れ	エアフィルタの購入(メンテにて交換)
26 12	水処理管廊 火災報知器誤作動について	業者による修繕実施済(火災報知器の交換)
	No. A34反応槽風量調節弁 アナログバックアップ不良	アナログバックアップの購入(メンテにて交換)
	No. 32送風機インレットベーン電油操作器オイル漏れ	業者による修繕実施済(脱臭用ダクト破損部の取替え)
27 1	A4系 初沈汚泥引抜ポンプ 吐出量低下	吸込みカバーの購入(メンテにて交換)
	SP棟地下2F薬液脱臭ダクト破損	業者による修繕実施済(燃料計のセンサー交換)
	場内各電気室入口 危険標識板破損	危険標識板と貼付け用マグネットテープの購入(メンテにて交換)
	B1・3系初沈池排水ポンプメカニカルシール部より漏水	業者による修繕実施済(ダブルメカシールに取替え)
	流入自動採水器中間槽故障	内部計量槽の筒の購入(メンテにて交換)
	北勢ポンプ場 自家発電機燃料計不良	業者による修繕実施済(燃料計のセンサー交換)
	A系PAC15m ³ タンクより3m ³ タンク移送用バルブ 漏液	バルブの購入(メンテにて交換)
	ハンマーナイフモア刈高調整不良	ブレーキワイヤ等のハンマーナイフ部品の購入(メンテにて交換)
27 2	A4,5系生汚泥引抜量制御異常	プリセットカウンターの購入(メンテにて交換)
	No. 16脱水機 異音	業者による修繕実施済(ミリングロールHPゾーン下部軸受け交換)
	A系全室素全リン計故障	業者による修繕実施済(電磁弁の交換及び計量器等の洗浄)
	据付型自動採水装置(流入)採水不良	業者による修繕実施済(計量部ピンチバルブの交換)
	No. 11機械濃縮起泡用空気レギュレータ故障	レギュレーターの購入(メンテにて交換)
	A4系初沈自動採水器採水不良	業者による修繕実施済(満水センサーコネクタの交換及びコンプレッサ等の分解清掃)

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
27 3	場内蛍光灯器具不良	業者による修繕実施済(蛍光灯器具の交換)
	中央監視用椅子破損	使用不能な椅子の取り換え
	NoA42初沈生汚泥ポンプ吸込カバー破損	吸込みカバー購入(メンテにて修繕)
	NoA32消泡水ポンプ不良	業者による修繕実施済(グラント押元の交換及びシャフトスリーブパッキン類の交換)
	北勢マンホールポンプ場ポンプ盤改造	業者による修繕実施済(UPS前後に避雷器を取付)
	B系残留塩素計部品	検出器を購入(メンテにて交換)
	小処理電気室(2)西側扉ノブ破損	ノブを購入(メンテにて交換)
	固化設備シャッター故障	業者による修繕実施済(昇降機取替)
	SP棟しき洗浄脱水機(下部)モーター異音、減速機室内オイル水混入	業者による修繕実施済(スクリュー補修、減圧機交換)
	No. 21出口DO計IE警報発令	点検にて復帰(経過観察)
	公園トイレ横植栽破損	支柱設置後経過観察(メンテにて)
	No. 1自家発ディーゼルエンジン No. 1シリンダー排気温度異常	業者による修繕実施(供給燃料量調整)
	SP棟スクリューコンベアライナー摩耗	業者による修繕実施済(ライナー交換)
	No. 14脱水機シーケンスコントローラー異常	業者による修繕実施済(シーケンサー取替)
	No. 1ポンプ井攪拌機絶縁抵抗値低下	経過観察
	No. 2ポンプ井攪拌機絶縁抵抗値低下	経過観察
	本館中央監視室 雨量・風向・風圧チャート紙記録計動作不良	未使用機器から流用(メンテにて交換)
	B系塩素混和池前接続人孔 角落し 漏水	極めて少ないと判明 経過観察
	管理本館中央監視室 操作卓 POCs2 動作不良	メーカー点検にて復帰
	No16脱水機ミリングロールHP用軸受修繕	業者による修繕実施(HPゾーンの軸受交換)
	北部浄化センター北側公園散水配管破損	平成27年度修繕予定

(11)水質試験業務

ア. 流入、放流水質試験

項目 月	気温	水温		透視度		pH		SS		BOD		COD		溶解性TOC	
	°C	°C		度		-		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位															
区分		流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	15.2	18.3	19.6	6	100	7.5	6.7	210	3	220	3.2	110	8.7	-	-
5月	20.9	21.1	21.9	6	100	7.4	6.7	190	2	190	3.1	100	6.7	-	-
6月	25.3	23.8	24.8	6	100	7.3	6.7	220	1	230	1.3	110	7.2	-	-
7月	28.6	25.4	26.4	6	98	7.3	6.8	200	2	190	1.7	97	7.2	-	-
8月	27.8	26.1	27.1	6	100	7.3	6.8	180	2	160	2.0	91	6.7	-	-
9月	23.7	25.5	26.3	6	100	7.2	6.7	170	2	190	1.3	87	6.8	21	4.5
10月	19.0	24.4	25.0	6	99	7.3	6.7	170	2	180	1.2	86	7.0	-	-
11月	12.9	22.1	22.5	6	100	7.3	6.8	170	1	170	1.1	92	6.8	17	4.4
12月	5.2	19.1	19.1	6	100	7.4	6.7	170	2	160	1.8	91	7.5	-	-
1月	4.6	17.5	17.4	6	97	7.4	6.7	180	4	200	4.1	96	8.0	-	-
2月	4.9	16.9	16.9	5	99	7.4	6.6	200	2	180	2.1	110	7.2	-	-
3月	9.5	17.3	17.7	6	98	7.4	6.6	200	3	170	3.5	100	7.7	-	-
最高	33.0	26.8	27.9	9	>100	7.7	6.9	280	14	270	8.6	140	10	21	4.5
最低	0.0	13.5	15.9	4	50	6.8	6.5	38	<1	100	0.9	41	5.4	17	4.4
平均	16.5	21.5	22.1	6	99	7.4	6.7	190	2	190	1.4	98	7.3	19	4.4
測定回数	365	365	365	362	364	365	244	193	192	55	55	195	194	2	2
放流基準値			-		-		5.8~8.6		40		15		25(20)		-

項目 月	大腸菌群数		遊離 残留塩素	全蒸発残留物		強熱減量		塩化物イオン		よう素消費量		全窒素	
	個/cm ³		mg/L	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	100,000	89	0.01	610	370	270	68	70	80	18	-	25	7.9
5月	76,000	57	0.01	510	360	230	46	78	82	11	-	23	7.2
6月	95,000	69	0.02	440	330	270	110	70	72	13	-	22	7.1
7月	160,000	240	0.02	490	310	250	40	72	75	26	-	21	7.3
8月	100,000	180	0.02	590	370	270	68	52	57	20	-	19	6.8
9月	62,000	150	0.02	400	260	180	52	69	71	12	-	22	6.7
10月	120,000	340	0.02	470	290	250	28	64	72	20	-	21	7.2
11月	170,000	190	0.02	520	340	210	56	73	72	17	-	23	7.8
12月	77,000	220	0.02	520	370	210	70	70	78	13	-	25	7.5
1月	110,000	330	0.02	550	340	250	64	80	78	15	-	27	7.8
2月	100,000	120	0.02	470	310	230	36	74	79	7.6	-	33	7.4
3月	58,000	260	0.02	420	330	210	76	68	80	5.2	-	28	7.3
最高	230,000	1,300	0.05	610	370	270	110	110	98	26	-	38	9.8
最低	33,000	4	0.01	400	260	180	28	42	41	5.2	-	12	4.9
平均	100,000	190	0.02	500	330	240	60	70	75	15	-	24	7.3
測定回数	24	102	244	12	12	12	12	51	51	12	-	107	110
放流基準値		3,000	-		-		-		-		-		13

項目 月	NH ₄ ⁺ -N		NO ₂ ⁻ -N		NO ₃ ⁻ -N		全りん		PO ₄ ³⁻ -P		n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		陰イオン 界面活性剤	
	mgN/L		mgN/L		mgN/L		mg/L		mgP/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	18	0.8	1.3	0.1	0.8	7.2	2.5	0.6	1.4	0.6	22	0	<0.1	<0.1	2.1	<0.1
5月	15	0	0.6	0	0.8	7.0	2.7	0.7	1.4	0.6	18	0	<0.1	<0.1	1.9	<0.1
6月	15	0	0.5	0	0.3	6.5	2.6	0.6	1.3	0.5	23	0	<0.1	<0.1	3.1	<0.1
7月	13	0	0.4	0	0.9	6.9	2.6	0.8	1.0	0.7	20	0	<0.1	<0.1	2.6	<0.1
8月	12	0	0.5	0	1.6	6.5	2.1	0.7	0.8	0.6	22	0	<0.1	<0.1	1.7	<0.1
9月	13	0	0.4	0	1.7	6.5	2.8	0.7	1.1	0.6	20	0	<0.1	<0.1	2.0	<0.1
10月	13	0	0.4	0	3.3	7.0	2.2	0.7	1.0	0.6	24	0	<0.1	<0.1	0.7	0.1
11月	14	0	0.3	0	4.1	7.5	2.4	0.8	1.2	0.7	20	0	<0.1	<0.1	2.2	<0.1
12月	14	0	0.3	0	5.1	7.1	2.8	0.7	1.4	0.6	20	0	<0.1	<0.1	1.4	<0.1
1月	18	0.6	0.2	0	1.9	7.3	3.6	0.8	1.8	0.7	24	0	<0.1	<0.1	5.0	<0.1
2月	21	0.2	0	0	0	7.0	3.8	0.9	1.4	0.8	22	0	<0.1	<0.1	1.9	<0.1
3月	20	0.3	0	0	0	6.6	3.5	0.8	1.3	0.7	20	0	<0.1	<0.1	2.1	<0.1
最高	23	1.3	1.7	0.2	5.9	8.2	4.5	1.2	2.5	0.9	27	<0.5	<0.1	<0.1	5.0	0.1
最低	6.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.8	1.2	0.2	0.6	0.2	12	<0.5	<0.1	<0.1	0.7	<0.1
平均	15	0.2	0.4	0	1.6	6.9	2.8	0.7	1.3	0.6	21	0	0	0	2.2	0
測定回数	53	54	53	54	53	54	107	110	53	54	24	24	12	12	12	12
放流基準値		-		-		-		1.4		-		鉍物油 1 動植物油 10		1		-

項目 月	銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム		全シアン		有機りん	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
5月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
6月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
7月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
8月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
9月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
10月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
11月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
12月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
1月	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
2月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
3月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
最高	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
最低	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
放流基準値		1		2		10		10		2		0.1		1		1

項目 月	チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ふつ素		ほう素		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	9.0	8.4
5月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	7.1	7.0
6月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	8.0	6.6
7月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	6.5	5.7
8月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	7.1	7.3
9月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	5.7	5.6
10月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	9.1	6.8
11月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	10	7.6
12月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	9.4	6.7
1月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	10	7.9
2月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	7.8	7.3
3月	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	6.3	5.8
最高	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	10	8.4
最低	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<1	<1	5.7	5.6
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8.0	6.9
測定回数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
放流基準値		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		15		230		100

項目 月	1,4-ジオキサン		ダイオキシン類	
	mg/L		pg-TEQ/L	
区分	流入	放流	流入	放流
4月	<0.05	<0.05	-	-
5月	<0.05	<0.05	-	-
6月	<0.05	<0.05	-	-
7月	<0.05	<0.05	-	-
8月	<0.05	<0.05	-	-
9月	<0.05	<0.05	-	0.00028
10月	<0.05	<0.05	-	-
11月	<0.05	<0.05	-	-
12月	<0.05	<0.05	-	-
1月	<0.05	<0.05	-	-
2月	<0.05	<0.05	-	-
3月	<0.05	<0.05	-	-
最高	<0.05	<0.05	-	0.00028
最低	<0.05	<0.05	-	0.00028
平均	0	0	-	0.00028
測定回数	12	12	-	1
放流基準値		10		10

備考

1. 数値は各月の平均値である。ただし、月1回の測定項目については測定値を記載している。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出している。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の()内の数値は日間平均値を示す。

イ. 生物反応槽試験

A1系: 擬似嫌気-好気法

項目	水温 °C	pH —	MLDO mg/L	SV30 %	MLSS mg/L	SVI mL/g	MLVSS mg/L	有機分 %	Rr mg/L·h	Kr mg/g·h
4月	19.5	6.5	1.6	20	1,860	110	1,310	80	8.0	4.4
5月	21.7	6.6	1.9	25	1,940	130	1,700	79	14	7.4
6月	24.4	6.6	1.6	25	1,880	130	1,320	79	14	7.8
7月	26.0	6.6	2.0	26	1,860	140	1,560	81	12	6.6
8月	26.9	6.5	1.6	28	1,820	160	1,640	84	13	6.9
9月	26.3	6.4	1.5	28	1,590	170	1,250	81	14	8.0
10月	24.6	6.4	1.7	34	1,800	180	1,610	84	9.8	5.4
11月	22.7	6.4	1.6	34	1,860	200	1,290	84	8.9	5.4
12月	19.9	6.4	1.4	40	1,900	210	1,700	85	8.6	4.6
1月	17.9	6.5	2.2	48	2,540	190	2,130	85	27	10
2月	17.6	6.4	1.9	33	2,040	160	2,060	84	14	5.9
3月	18.1	6.4	2.0	42	2,420	180	2,090	85	16	6.0
最高	27.3	6.7	3.4	52	2,790	220	2,130	85	43	16
最低	17.2	6.3	0.7	18	1,260	100	1,250	79	7.4	4.1
平均	22.1	6.5	1.8	32	1,960	160	1,640	83	13	6.5
測定回数	52	51	52	52	52	52	12	12	24	24

A2-5系: 嫌気-無酸素-好気法

項目	水温 °C	pH —	MLDO mg/L	SV30 %	MLSS mg/L	SVI mL/g	MLVSS mg/L	有機分 %	Rr mg/L·h	Kr mg/g·h
4月	19.8	6.5	2.3	23	2,110	110	1,610	79	9.3	4.4
5月	21.8	6.5	2.4	26	2,130	120	1,920	80	15	6.3
6月	24.6	6.5	2.4	26	2,150	120	1,710	79	13	5.7
7月	26.1	6.5	2.5	26	1,900	140	1,530	79	11	5.4
8月	27.2	6.4	2.3	30	1,960	150	1,530	79	10	5.2
9月	26.3	6.3	2.1	31	1,860	170	1,500	79	8.9	4.7
10月	24.9	6.3	2.2	30	1,830	170	1,370	79	8.7	4.8
11月	22.8	6.3	2.1	32	1,980	160	1,460	81	8.1	4.3
12月	20.0	6.3	2.1	40	2,270	180	1,780	81	7.9	3.6
1月	18.0	6.4	2.1	43	2,590	170	1,970	82	10	4.1
2月	17.6	6.3	2.0	40	2,440	170	1,910	82	9.8	4.1
3月	18.2	6.3	2.2	43	2,480	170	2,030	82	9.3	3.7
最高	28.0	6.6	5.3	64	4,040	200	2,330	82	18	7.3
最低	17.0	6.2	<0.5	14	1,400	72	1,240	77	5.1	2.7
平均	22.3	6.4	2.2	33	2,140	150	1,690	80	10	4.7
測定回数	52	51	52	52	52	52	12	12	24	24

B1系: 嫌気-無酸素-好気法

項目	水温 °C	pH —	MLDO mg/L	SV30 %	MLSS mg/L	SVI mL/g	MLVSS mg/L	有機分 %	Rr mg/L·h	Kr mg/g·h
4月	20.0	6.4	2.0	48	2,290	210	2,190	85	14	6.0
5月	21.8	6.5	2.3	48	1,950	250	1,510	81	11	5.6
6月	24.7	6.5	2.5	44	2,090	210	1,920	83	12	6.1
7月	26.0	6.4	2.8	34	1,950	180	1,460	81	10	5.6
8月	27.1	6.3	2.9	34	1,980	170	1,400	79	9.6	5.0
9月	26.4	6.1	1.6	33	2,330	140	1,700	79	10	4.9
10月	24.9	6.1	2.4	31	1,990	160	1,660	80	10	5.2
11月	22.7	6.2	2.3	29	1,870	150	1,550	82	9.8	5.3
12月	19.8	6.2	2.6	32	2,150	150	1,510	82	10	5.0
1月	18.0	6.3	1.8	44	2,840	150	1,290	83	11	4.6
2月	17.8	6.2	1.8	41	2,600	160	2,400	84	12	4.8
3月	18.3	6.1	2.4	53	2,930	180	2,470	84	14	4.6
最高	27.5	6.6	5.5	64	3,640	310	2,470	85	15	6.6
最低	17.6	6.0	0.7	24	1,570	130	1,290	79	7.3	4.0
平均	22.3	6.3	2.3	39	2,248	176	1,755	82	11	5.2
測定回数	87	51	87	88	87	87	12	12	24	24

ウ. 汚泥試験

(ア) 含有量試験

【脱水汚泥】

項目 月	T-N	T-P	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
5月	58	18	72.6	87.2	-
8月	54	16	72.9	85.8	-
11月	49	18	73.5	88.2	-
2月	55	21	75.4	88.0	19,000
最高	58	21	75.4	88.2	19,000
最低	49	16	72.6	85.8	19,000
平均	54	18	73.6	87.3	19,000
測定回数	4	4	4	4	1

【しさ・沈砂】

項目 月	T-N	T-P	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
1月	15	3.1	80.8	96.4	20,000
測定回数	1	1	1	1	1

(イ) 溶出試験

【脱水汚泥】

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平均	0	0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロパン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.01	<0.01	<0.05
8月	<0.01	<0.01	<0.05
11月	<0.01	<0.01	<0.05
2月	<0.01	<0.01	<0.05
最高	<0.01	<0.01	<0.05
最低	<0.01	<0.01	<0.05
平均	0	0	0
測定回数	4	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

【しさ・沈砂】

項目 月	検体種類	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン
単位		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1月	し渣	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03
1月	沈砂	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03
測定回数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

項目 月	検体種類	テトラクロ エチレン	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム
単位		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1月	し渣	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
1月	沈砂	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
測定回数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

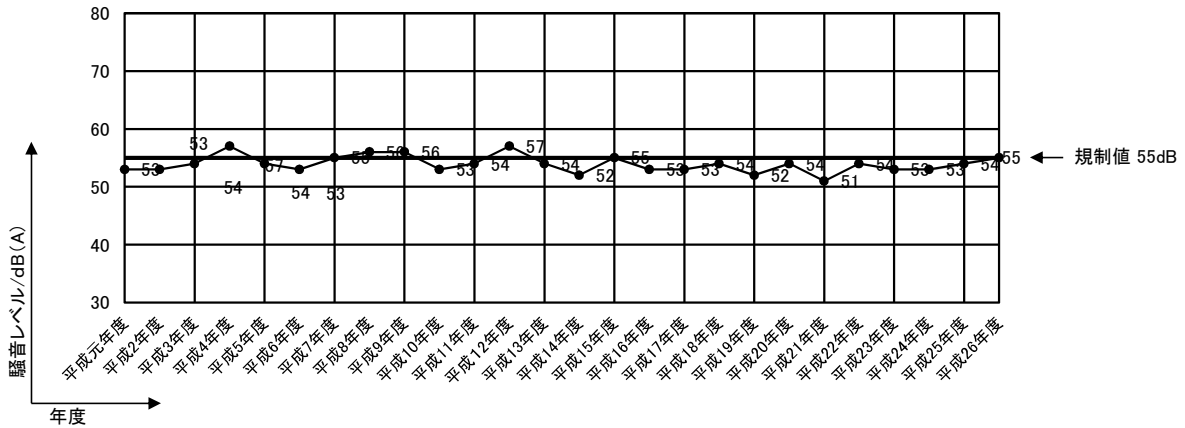
項目 月	検体種類	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1月	し渣	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<0.05
1月	沈砂	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<0.05
測定回数		1	1	1	1	1

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(北部浄化センター)

ア.騒音調査(夜間)



備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(2地点×4回/年実施)
2.基準値は太線で表示

イ.悪臭調査

(ア)臭覚測定

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
臭気指数		-	-	-	-	-	-	<10	12	<10	<10	28	<10	14	<10
臭気濃度		-	-	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	630	<10	23	<10
臭気強度		-	-	1	<1	<1	<1	1.3	1.5	<1	<1	4.5	<1	2.5	<1

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26
臭気指数		<10	<10	<10	<10	<10	17	50	<10	12	<10	<10	<10
臭気濃度		<10	<10	<10	<10	<10	49	17	<10	16	<10	<10	<10
臭気強度		<1	<1	<1	<1	<1	-	-	-	-	-	-	2

備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(6地点×6回/年)

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
アンモニア		<0.1	<0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.1	<0.1
メチルメルカプタン		<0.0005	<0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0059	0.0019	0.0042	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.180	0.300	0.033	0.008	0.001	<0.001	0.010	0.004	<0.002	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.0005	0.0017	<0.0005	0.0007	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.001	<0.001
二硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009	<0.0009

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26
アンモニア		<0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	0.1	0.4
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.009	0.003	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009

備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(6地点×6回/年実施)
2.他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているが、全て報告下限値未満であった。

ウ.水質調査

(生活環境項目)

(単位:表示のないものはmg/l)

項目 \ 年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	環境基準
透明度(m)	0.6	1.7	0.7	1.5	0.9	1.5	0.9	1.5	1.2	1.3	0.3	1.0	1.8	1.2	—
pH	7.3-8.2	8.1-8.6	8.0-8.6	7.4-8.7	8.0-8.4	7.8-8.3	7.5-8.7	7.6-8.6	7.4-8.7	7.8-8.5	7.6-8.3	7.7-8.7	7.5-8.6	7.6-8.2	7.0~8.3
溶存酸素	4.1-9.1	6.6-9.7	6.7-13	4.8-12	5.3-11	4.4-8.9	6.3-11	6.3-13	5.1-12	5.3-11	6.1-8.4	7.1-11	6.4-9.8	6.6-9.2	2mg/l以上
COD	6.1	2.7	5.4	5.7	4.6	4.2	6.2	6.2	8.0	5.4	3.7	6.9	4.1	3.6	8mg/l以下
全窒素	1.40	0.55	0.74	1.40	1.60	1.70	3.10	2.50	6.30	1.60	1.50	1.90	2.53	2.91	1mg/l以下
全りん	0.130	0.060	0.094	0.220	0.099	0.230	0.210	0.071	0.064	0.099	0.063	0.095	0.331	0.181	0.09mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	検出されないこと
塩素イオン	17,000	17,000	18,000	18,000	18,000	19,000	18,000	17,000	18,000	17,000	18,000	14,000	17,000	16,400	—
陰イオン界面活性剤	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
大腸菌群数(MPN/100ml)	920	1,700	2,700	220	1,300	1,100	13,000	220	7,900	220	16,000	16,000	540	3,500	—
全亜鉛	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

項目 \ 年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26			環境基準
透明度(m)	1.0	1.0	1.5	2.5	2.0	1.5	0.9	0.8	1.1	0.8	1.0	1.2			—
pH	7.5-8.3	7.3-8.9	7.8-8.7	7.4-8.4	7.4-8.2	7.6-8.2	6.8-8.1	7.3-8.0	7.7-8.9	7.6-8.4	7.2-8.5	7.6-8.7			7.0~8.3
溶存酸素	4.1-10	5.5-13	5.2-11	4.8-7.3	5.8-10	3.9-9.6	3.8-9.2	4.5-8.8	2.4-12	5.5-12	5.6-11	5.8-12			2mg/l以上
COD	4.2	5.8	4.3	6.4	3.8	5.3	3.5	4.8	5.0	7.7	5.4	6.0			8mg/l以下
全窒素	1.95	1.90	1.10	1.80	1.40	1.90	2.0	2.5	1.7	1.9	2.2	1.9			1mg/l以下
全りん	0.117	0.120	0.092	0.170	0.130	0.150	0.15	0.22	0.17	0.14	0.11	0.20			0.09mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5			検出されないこと
塩素イオン	17,000	16,000	17,000	18,000	17,000	16,000	16,000	16,000	19,000	14,000	16,000	16,000			—
陰イオン界面活性剤	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			—
大腸菌群数(MPN/100ml)	1,100	790	1,700	3,500	1,400	7,900	790	9,200	16,000	16,000	24,000	16,000			—
全亜鉛	—	—	—	—	—	—	—	0.026	0.025	0.032	0.036	0.017			—

- 備考 1. 放流口最寄地点における最高値(6回/年実施)。但し透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を記入。
 2. 他に健康項目26項目(平成12年度までは23項目)の調査(1地点×3回/年)を実施している。全て環境基準に適合していた。

エ.底質調査

(乾泥あたり含有量)

(単位:表示のないものはmg/kg)

項目 \ 年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
COD(mg/g)	35	6.6	17	9.2	17	4.3	10	9.1	7.4	8.7	9.6	9.0	13	6.0
n-ヘキサン抽出物質	490	440	280	660	<50	<50	89	89	<50	300	1900	240	340	100
カドミウム	0.21	0.13	<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1
全シアン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛	25	13	25	18	15	17	9.3	9.2	12	14	14	14	21	22
六価クロム	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
全クロム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素	6.4	5.0	7.3	6.7	4.5	4.3	7.1	2.0	5.2	2.9	1.7	1.4	6.8	8.1
総水銀	0.18	0.05	0.18	0.13	0.10	0.17	0.07	0.14	0.09	0.12	0.11	0.09	0.10	0.07
アルキル水銀	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)	0.88	0.56	1.4	1.1	0.88	0.90	0.48	0.45	0.50	0.86	0.87	0.70	1.1	0.70
全りん (mg/g)	0.46	0.34	0.38	0.47	0.21	0.52	0.72	0.68	0.05	0.09	0.07	0.03	0.34	0.81
硫化物 (mg/g)	0.12	0.19	0.65	0.19	0.72	0.26	0.26	0.21	0.32	0.30	1.60	0.60	0.24	0.89
含水率 (%)	51.0	31.0	33.0	32.0	29.0	30.0	23.0	25.0	24.0	26.0	29.6	29.8	36.6	28.4
強熱減量 (%)	5.8	3.0	6.1	5.2	4.4	4.2	3.7	3.8	3.3	3.9	4.4	3.9	5.1	3.9

項目 \ 年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26		
COD(mg/g)	6.4	7.0	14.0	14.0	9.0	9.0	12	13	13	12	14	13		
n-ヘキサン抽出物質	140	430	900	710	590	590	810	200	290	660	340	410		
カドミウム	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
全シアン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
鉛	19	16	19	22	14	18	19	16	14	17	21	17		
六価クロム	<1	-	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
全クロム	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
砒素	6.6	5.1	3.5	4.3	5.4	5.6	8.0	7.3	6.9	5.8	7.1	6.4		
総水銀	0.10	0.08	0.09	0.07	0.08	0.10	0.09	0.06	0.08	0.08	0.08	0.07		
アルキル水銀	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
ポリ塩化ビフェニル	<0.05	<0.05	0.01	<0.05	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
全窒素 (mg/g)	0.80	0.70	1.2	0.60	0.90	0.90	1.3	0.80	0.70	0.8	1.1	0.8		
全りん (mg/g)	0.97	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.50	0.40	0.40	0.4	0.4	0.4		
硫化物 (mg/g)	0.44	0.62	0.17	0.42	0.28	0.20	0.22	0.15	0.05	0.15	0.26	0.42		
含水率 (%)	29.9	32.0	35.0	32.0	32.0	34.0	32.0	31.8	28.8	31.8	31.6	30.1		
強熱減量 (%)	5.0	3.9	5.6	4.3	3.8	4.7	4.6	4.1	3.8	5.2	5.8	5.0		

備考

1 放流口最寄地点における値を記入(1回/年実施)

2 他に溶出試験として7項目を実施(1回/年)しているが、放流口最寄地点(3地点)で全て報告下限値未満であった。